

政務レポート

りれしよん

2014年1月5日
鳥取県議会議員
砂場隆浩
鳥取市片原1-107

「Relation」とは1605年、
ストラスブールでヨハン・
カロルスが世界で初めて
創刊した新聞です。直訳す
れば「関係」。このレポート
で県民の皆様と良い関係を
築ければと願っています。

採決で結論分かれた11月定例会

秘密保護法の意見書可決

慎重な上にも慎重な執行を求める

明けましておめでとうございます。公選法の規定で賀状の挨拶を遠慮した欠礼をまずお詫びいたします。さて、11月定例会県議会は昨年12月17日に閉会しました。我ら会派希望（のぞみ）には初舞台でしたが、一般質問で、所属議員全員が「鳥取の未来について」と共同テーマで連続して登壇するなど会派の存在感を示せたと思っています。会派提案の「特定秘密保護法の慎重な執行を求める意見書」は可決できましたが、「軽自動車税増税反対の意見書」は否決と明暗は分かれました。鳥取県議会は一強の国会と違い、課題ごとに是々非々で対応が決まり、良識の府らしいと意を強くしています。

特定秘密保護法

県議会初の記名投票

会派希望は「特定秘密保護法は国民の知る権利や報道の自由を脅かす恐れがある。慎重な執行が必要だ」と意見書をまとめ、各会派に賛同を呼びかけました。民主党系の会派絆は、共同提案も賛成討論も快諾してくれました。党中央が「知る権利」の明記など法案に修正を加えた公明党県議団は「必要な法律だが慎重に

運用されない」と人権上の問題が起きる」と賛成いただき

島根原発2号機再稼働は慎重に

採択求めるも継続審議

島根原発に関する陳情4件の常任委員会の審議結果は、「新規性基準適合性審査申請に関する情報公開と県民説明会」求めた陳情こそ趣旨採択になりましたが、「1・2号機の再稼働

見合わせと3号機の建設凍結」「再稼働に慎重な判断」を求めた陳情2本は研究留保（継続審議）、「再稼働に反対し、原子力に頼らないエネルギー政策を求める」陳情は不採択でした。

きました。共産にも協力を呼びかけたのですが、「断固廃案」と賛成は得られませんでした。自民の中にも、法案の問題点を指摘される方もあつたのですが、結局、本会議の採決は鳥取県議会初の記名投票となり、無所属2人も含め計15人が賛成、自民と共産の計14人が反対、1票差で可決されました。

軽自動車税増税に反対 賛同得られず意見書否決

政府与党の税制調査会が、消費税増税に伴って自動車取得税が廃止されることから、軽自動車税を1・5倍に引き上げることを決めましたので、会派希望は「軽自動車税の増税に慎重な対応を求める意見書」を政府に提出するよう提案することを決めました。軽自動車は安価な交通手段として普及しています。福島原発の惨状を目にしたばかりの私たちが会派希望はもちろん脱原発です。「慎重な判断」の陳情は喫緊の課題として採択を、「エネルギー政策」の陳情は趣旨採択を求めて、委員長報告に反対しましたが、認められませんでした。

し、公共交通機関の発達していない鳥取県では、生活必需品ですから、安易な増税は認められないと考えたからです。共産が賛同し、賛成討論を頂きましたが、「軽自動車税は市町村民税。県議会が意思表明するのは僭越」「増税額は3600円。受忍限度内だ」などと反対する会派が多く、採択には至りませんでした。